

食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会
第93回家きん疾病小委員会 概要

1. 開催日時：令和7年4月25日（金）

2. 開催方法：持ち回り開催

3. 出席委員（50音順、敬称略）

臨時委員：砂川 富正、山口 剛士（委員長）

専門委員：岩科 友希、内田 裕子、大谷 芳子、白田 一敏、
森口 紗千子、山本 健久

4. 議題：

（1）今後の高病原性鳥インフルエンザ対策について

5. 概要：

令和6年シーズンのこれまでの高病原性鳥インフルエンザの発生及び対応を踏まえ、来シーズン以降に向けた対策パッケージとして農林水産省が検討している内容について、本小委員会に対し報告がなされた。委員からの主な意見は以下のとおり。

I 飼養衛生管理の強化について

新たに飼養衛生管理基準に位置付ける対策については多様な現場の状況等を踏まえ検討することや、指導体制の強化・平準化の必要性等について意見があった。

II 分割管理の推進について

一層の推進を図るには、分割管理の基準の技術的な見直しを進め、分割管理に取り組む生産者の負担感を軽減する必要があること等について意見があった。

III ワクチン接種の検討について

家きんの感染防御の観点のみならず、その他のリスクや影響等を含めた議論の必要性について意見があった。

IV まん延防止に向けた防疫措置の見直し（民間事業者の活用）

特になし。

以上